

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 5年 6月 12日	
岩手県知事 達増 拓也殿	
提出者	
住 所 岩手県北上市相去町大松沢1-107	
氏 名 わらべや日洋食品(株)岩手工場	
工場長 松川 裕之	
電話番号 0197-67-1000	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	わらべや日洋食品株式会社 岩手工場
事業場の所在地	岩手県北上市相去町大松沢1-107
計画期間	令和 5年4月1日～令和 6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	食料品製造業
② 事業の規模	8,616百万円
③ 従業員数	400名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	食品残渣→再生処理業者に委託し、発酵→堆肥化 金属くず→再生処理業者に委託し、選別→リサイクル 廃油 →再生処理業者に委託し、リサイクル 汚泥 →再生処理業者に委託し、発酵→堆肥化 廃プラ類→焼却処分

(日本工業規格 A 列 4 番)



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者：工場長

廃棄物担当者：製造一課1名、製造二課1名、資材課1名、管理課1名、工務課1名

役割：廃棄物の発生抑制、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。

議長・・・工場長、メンバー・・・各課より

統括責任者・・・廃棄物処理方針の策定、廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認

廃棄物担当者・・・廃棄物発生状況の把握と抑制策の検討、維持管理状況の把握

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	金属くず	動植物性残渣	廃プラ	汚泥
	排出量	3.79 t	743.92t	461.59 t	272.66t
	（これまでに実施した取組） 材料発注時（発注数、材料カット時期）の確認 製造時の予想との差、作りすぎによる廃棄の抑制				
② 計画	【目標】昨年実績に対して、排出を5%削減				
	産業廃棄物の種類	金属くず	動植物性残渣	廃プラ	汚泥
	排出量	3.60 t	706.72t	438.51 t	259.02t
	（今後実施する予定の取組） 昨年実績に対して、動植物性残渣・廃プラ・汚泥の排出を1%削減 製造廃棄システムを利用し、期間ごとの廃棄数量および内容を確認し、材料管理の精度向上、廃棄数量の削減に努める。				

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 朝礼やミーティング等で、従業員のゴミ分別・廃棄抑制の意識を高めて排出削減に努める。また、材料発注時の確認、製造時の予想との差、作りすぎによる廃棄の抑制に努める。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状の取組をより強化し、廃棄の抑制に努める。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	金属くず	動植物性残渣	廃プラ	汚泥
	全 処 理 委 託 量	3.79t	743.92t	461.59t	272.66t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t	t	234.80t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	3.79t	610.99t	1.62t	272.60t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
	朝礼やミーティング等で、従業員のゴミ分別・廃棄抑制の意識を高めて、排出削減に努める。また、材料発注時の確認、製造時の予想との差、作りすぎによる廃棄の抑制に努める。				

② 計画	【目標】昨年実績に対して、排出を5%削減				
	産業廃棄物の種類	金属くず	動植物性 残渣	廃プラ	汚泥
	全処理委託量	3.60t	706.72t	438.51t	259.02t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	223.06t
	再生利用業者への 処理委託量	3.60t	580.44t	1.53t	258.97t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組をより強化し、廃棄の抑制に努める。				
※事務処理欄					

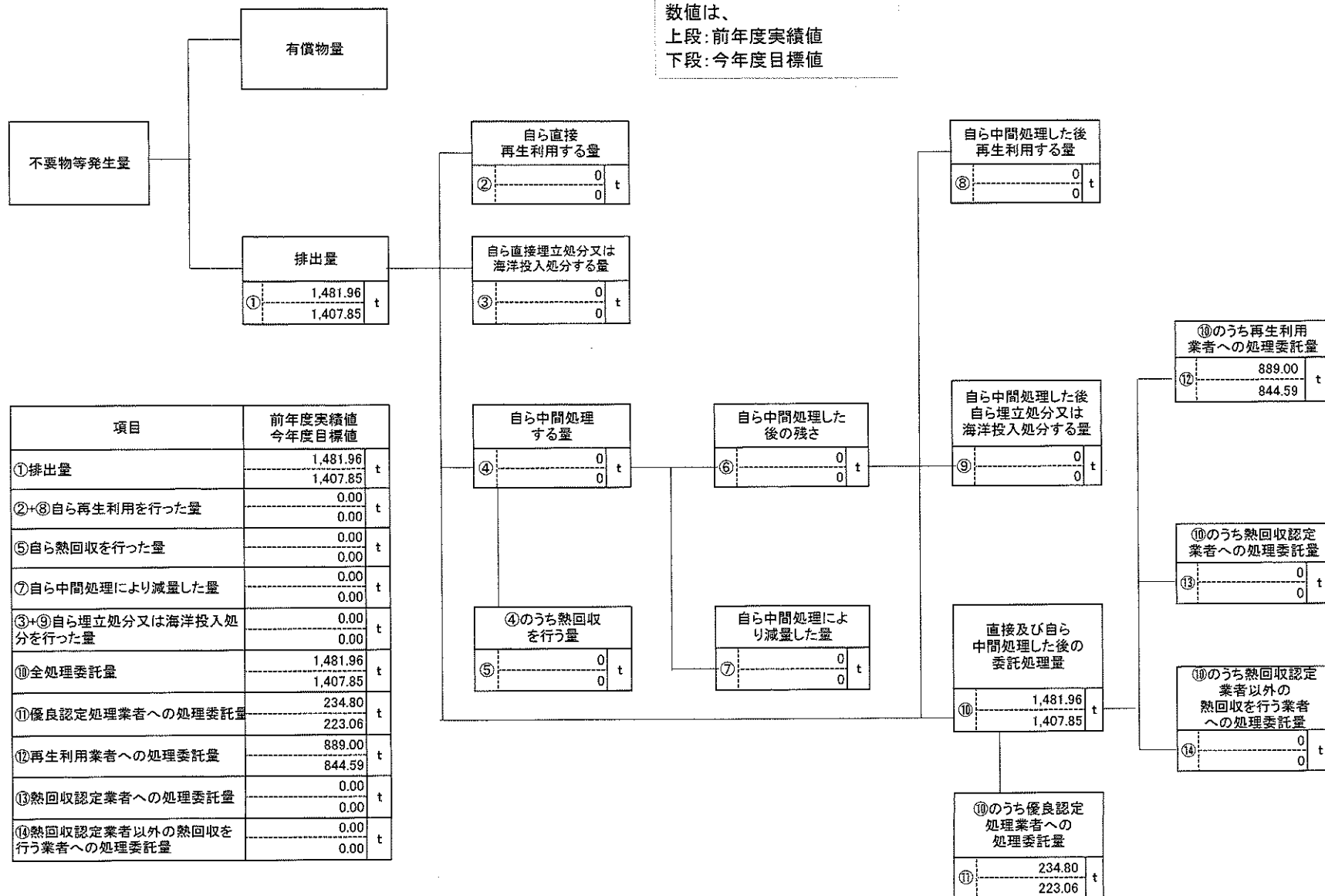
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 全体)

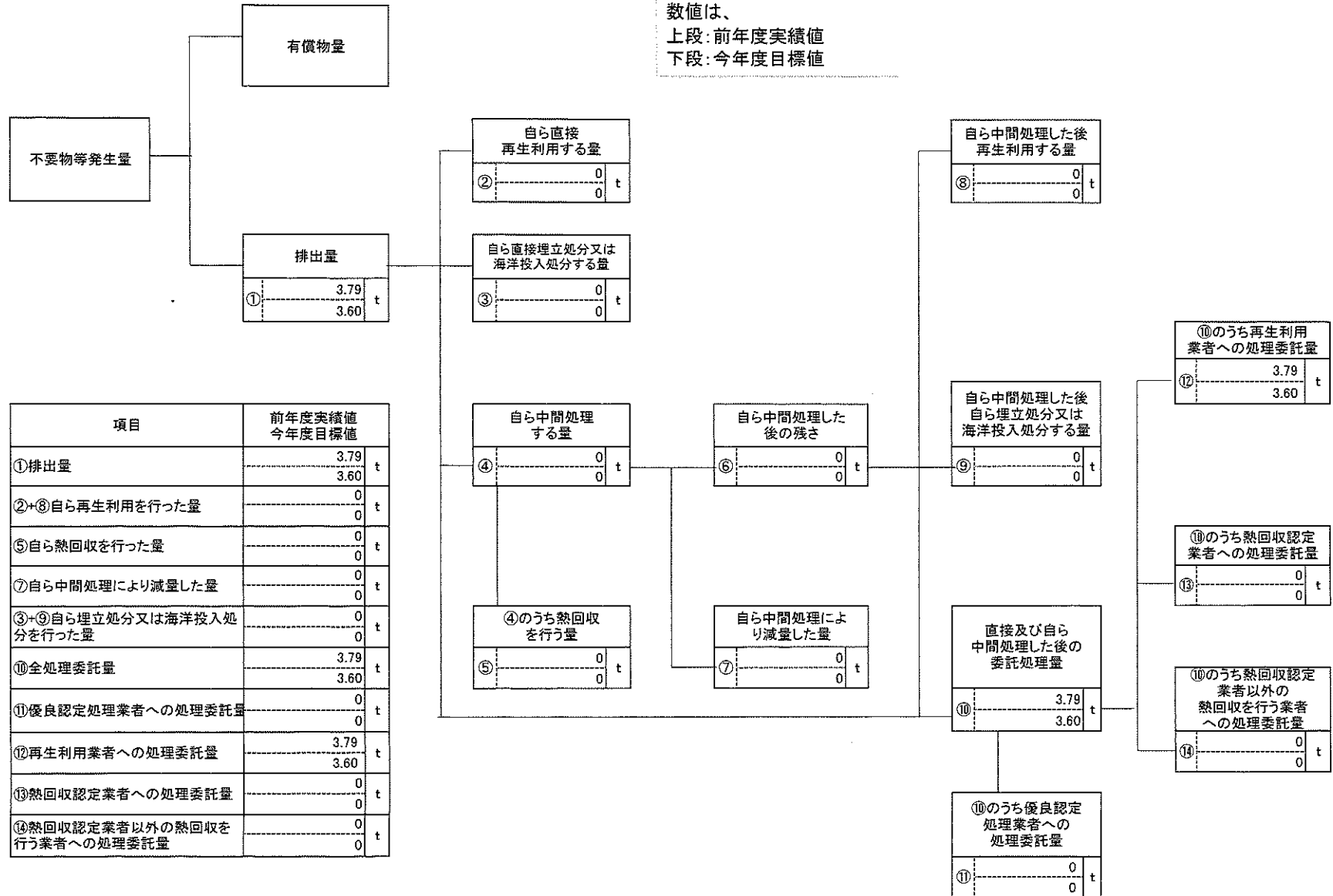
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

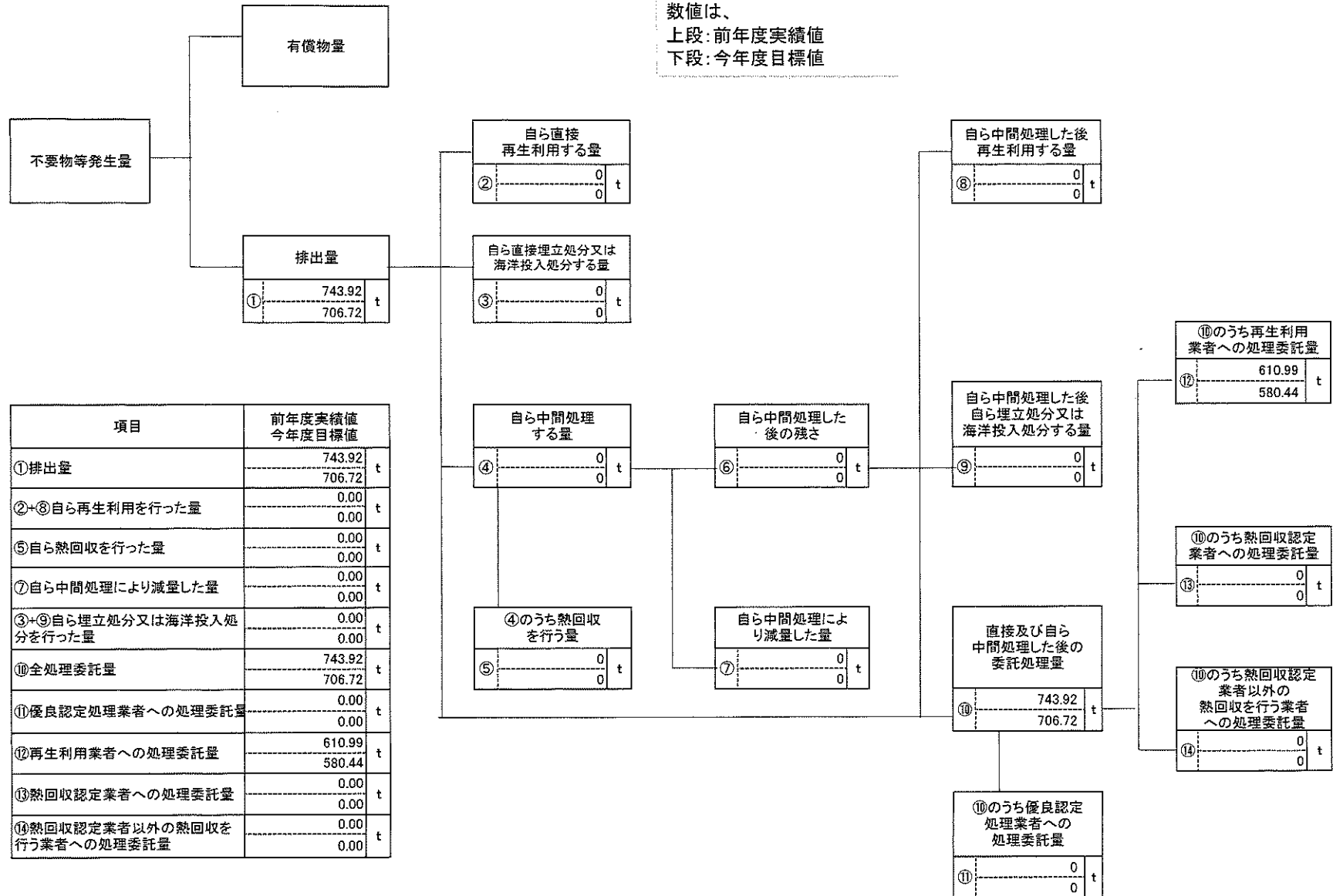




【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 動植物性残渣)

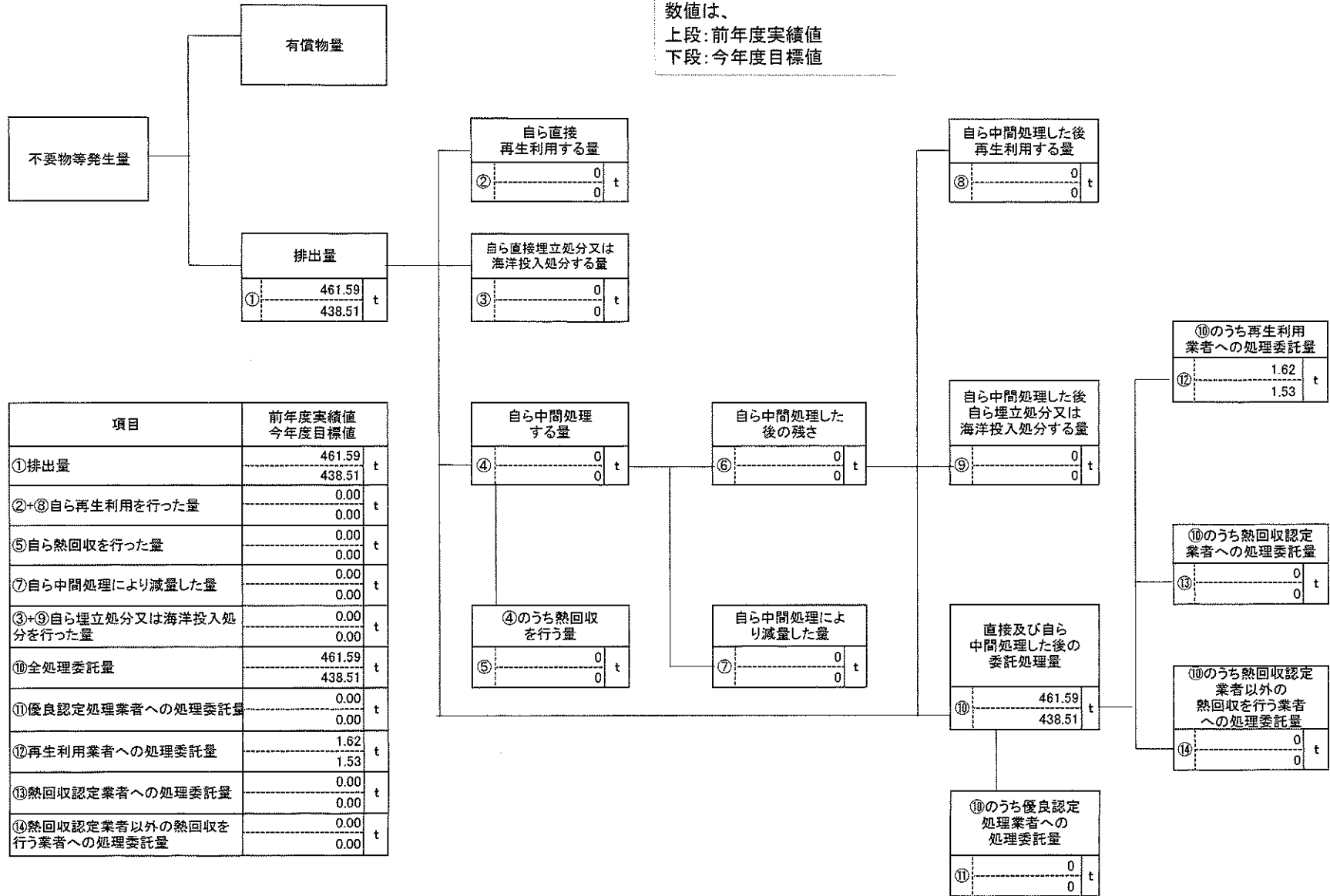
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

